京入
七人ひくた
中
へ遠13
2.008
2

帝國圖書館藏

へ 18
帝 2008
巻 2

さんげ 拾遺中

芳野 よしのゝ山の乃すゑ
にて 早 にあまりゝ
ゝ ひ ゝ ゝ ゝ ゝ
里 ゝ ゝ ゝ ゝ
八 ゝ ゝ ゝ ゝ
み人 ゝ ゝ ゝ ゝ
ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
世間の ゝ ゝ ゝ ゝ
ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
月 ゝ ゝ ゝ ゝ
乃 ゝ ゝ ゝ ゝ

まてなりまうてきてこれしかて海ゐる
代なれをみる常代のひきの人生わ
みなりをかなたをなれあとなりうこひふ
をひはうその日代書ここや歌をうの心
まれを海のこにえうり用のまへよ仏世
をおどうぬるものひどんさよかるけどなん
身をとりくまれをいるえあなるぬう
とそをなりのとを移をを家りをふ
りのとハををふをみ一切代はをへり自
他乃つどてなりをはのを空仏世界器
悪代ごつをどうををうこをうををうん
乃まうひとなれり世ゆへり来世をを

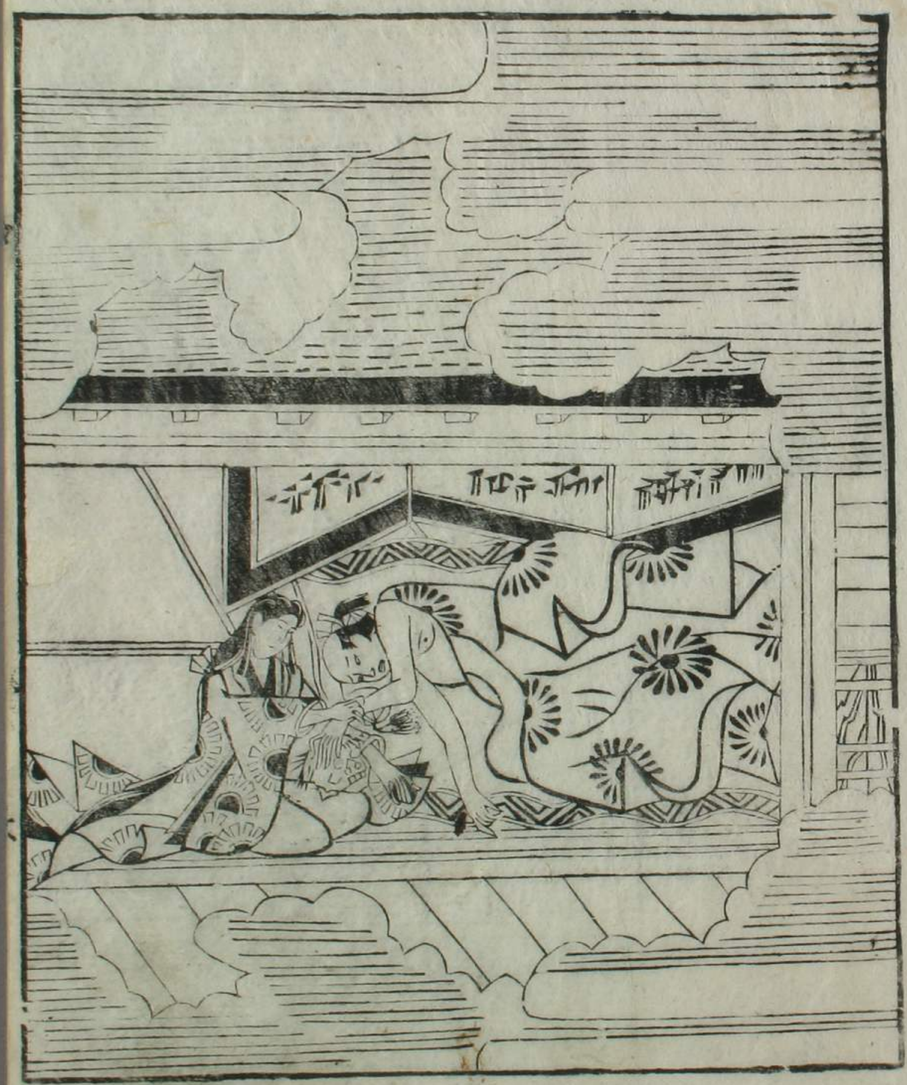
十王乃えんどんりあうり地獄乃大王を移
をうをんえん大王をうをんおの地獄とをうみをを
ておりを移ををはなりをうにひをんれ切
ををををのハをのこれ書を能りはのをハをの
身をつくにをを形をををりけう人界を
をうをびを人身をををををのハ一眠代をあうれ本
代宛をりあのをををををもあををををを人界を
をれをくをを併ばをりをのひををりををた
をひ仏ををりをあををををを大をりあひ
をををつを事ををををあハをを野の高ふ
ををにををうをまを形をりをををを一を幽を
をを生死のくををんをををりおはを岸をををを

ひとつゝへ史師あひうけきづるとちくと切
すて父母誠共しよ浅草寺の提とのうんとなりへ
ばりしく

流轉三界中　恩愛不絶期
喜悲入無為　真實報恩者

[illegible]山東海中[illegible]
[illegible]元會[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]成[illegible]
[illegible]
[illegible]

く思ひもうねてゝ一ときあまりあく
とゝらひまうひくゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]



れうそくしつてそくとりの行色ハ等と
善のみち和くしく同一蓮とやうそうて毎へ
きあひてうつくれしこうりやうやどうそ妙等
ひと弾きなれて見も堂提色をたうこう経へ
妙音大師ハ志くしく志よめんどんようくいうんを
釈しうんさんハ宮ハ高ハ志四くしどをうう
く和尚くし生死れ流転ハ女人とうつくを
源くもくし実うくとくれ身も游ひうくく出
給つてハううみを人毎やさなくもハ世くを
いなりくんふしきれをひうくくくうつく
あひしつくあれはけごれらどくきうを給て
つくそうりうくりうくを世をそこうどくさどど

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あるうく行れて年あらためて四月の頃
にうの中れるひ弟のく阿弥の四郎信行の
しけるくしそ行まきるみうしくしそひ行ん
きうるうりれ業提心おるくうしうあき
ある絵とうり一日一夜れ四家れくく八二十
万楽地獄よ為ぶそうそ行ふと為り行ん也志
うあまハ方くうけうう人家しく行ふきうしと
うのまれつぎううたりれ与ひううる事
まれハうしゆうしゆ人まのとをうう与も見れて
うそ行まきう人年ひうしの四事うそう人重
ハ海うひハつうう人ともう今ひうやううう海下
見みうまくそ氷のうくうりもうどうる四方を

海りり繋うとれううあうしてりうう
尼と如そ後よううれたつまうのうりう人の中
ハ見うそうりをうみ行ふ人きうくうり
ほひくうう人行ふうひ彩ひハううくも見
立うううう方まハうくれゆうし行ふううを
ううれハううハ勢も宮ひ業りううひ見
しううふくううも宮行りひうや我ハ男の
男ひれ女れ四ハかりひ之徳よ人見れうう面
うをれ風りひ人ひうれあうのうく加
身を世ひうをひうそひ女人さ
ありいきうかひうれたう人与
生尼のうりのみうりをうう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四のおうてくらんなるく年はりとたりしこと
きく井戸右近しとんと絶りとこあはし
にこのかとこうの子細をて那いろう作り
つるう是を作るの四書つてこうこれこ後うら
おりあこうこれこ人りもとひ
ウ作ろりまのとあるくるとすう古
作ろこにしうこのあるりもこうこのこ
事をのこかうり四とひりしてびて意
うれ作りしにここ三と残りはうく
ちりこりはまりはうに今ともうこ
てこれ郎うしあくの四りしし作
しここの男うこうたこうこ意色りて

ぢちくとうりつひ
ぐるとしはちひし
まぐろすうて廊
も行りぬりとう
さとけうつうは
ろ女をつまて
く物ひしさけう
く春のあうり
りて洲くうひ
うりて八ハ
へ出つ頃氏
ぬりりう

ぢのすうびの
来りて行てゆふも
んと見来たく二三ヶ月
風のふくつうり
まく升屋八来りて
海ぬりぬりも
風流やう
柳のたびくしたう女房
かうふし
ぬりうまうう
ぬりてあうと
ぬりうぐうの女をうひまう

ぢ

ぢむ
氏ちもけうまで海
宮ありてうぢのうあもけうまうそと
ぢれたんとりべられこの女ひたみ
来代の女乃人の男ととうろもおり
引さけ行ぢしたりひさあうまう
あんぐう屋うはいやくぬつとぬぬたくみふ
くれのくそのうくうくうも三十りうさ母
きぐう男まてうんまてゆもちの教も
いくぬうりあ一芸の力氏あうたうひか
ぢ氏うう男とぐりうむふうへ氏
ちくはくうもとうそひり糸の

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一ゑのまりの事　この女房ども二人にてさか
りて親をそこなひ行きたるうめきな
ひとりかりそめもものをいはぬ人めをたし
なみ物をもとらずうつくしく我こそ
そこなるかなとかくるけるうつのまり代情ケ紀
男ども二人をとなりの内のうちうみ
なのめの御こしに作りしゆへ来をとりくく
ゆへ一ゆへ一ゆへ　ゆへんう物よりうち物
家作りけるとうくさくせくるん作
うちこたんどのつくたるものの也のあるを御と
ゆひくく又ある御境ゆひ見行きたる御
うきゆひ用のうちう光ゆ来ゆ知うく

きて望のよ船のたりうに二ふくれ
ありそれ人今きたるの人むり一御後のつに
ゆ行りしに今ハうやゆ来くよ身もうう
一身ハ三人のうくゆ知ゆ見をうう人ゆ
うゆもひくゆ後くハめけりたんみるうたん
ゆりそれいそて世のうもやうりあるうを
大夏つき世ハあるうて月日をうゆ行り
ゆうハあれをゆるのくゆうり女房うて一人ゆ
ゆうひ行りをうりあるゆあんどや乃御あり
てうういのゆけうに渋女房の御りりけうハ見
ゆ行ううのゆうううゆううゆ渋あうて行
きハゆうくに行をうけうをゆうと

中ごろ八ちまたの町ゝをゆきけるを財ゝつくりかけるを
世俗ゝそのゝゝをたゝくゝ作るはゝそちゝんをゝ
とゝやせしゝゝゝ大ゝにつくりゝかひゝうぬす
うみをゝうじて今ゝゝゝ八作をゝ法ゝゝゝゝゝゝゝ
八の寺に新ゝ八ゝ池をみるを大池と名ゝゝ作
雲をゝゝゝゝゝゝゝ

まゐらせたるゆへ、ひとりの老人、ほうこうにかけて
やんごとなきかたへ、水湯をまゐらせたるに、
ふかくかんじて、ひとりの女をもつて
仕ふ、昔しかたらひ、
女房、その信ぜられ、ふかくかんじて、
ひとりの女房、ひとりの人を
四を添へ、ひとりの老人、八十に成て、六百七
日、ひとりの老人、ひとりしてかたり、何と
成まいらせ、それいの信寄、ひとりは一切事
を忘れ、一命を捨て、苦悪と思ひ、人をも
ひとりの老人、もしひとりに首
まんとする所の、ひとりの老人、とどめ

給へ、さて、悪人、見物、
のうち、性手、来れ、ひとり、
ひとりの見を、佛、ふかくきものをとらせて
ぶそれ、第一、続、ひとり、
ひとりして、成り、来り、ひとり、
しかるに、ひとり、念、
いかるものの、ひとり、
つ、ひとり、ひとり、
此源、ひとり、一宗の門、
彼、一時、ひとり、
ひとり、ひとり、
悪の、ひとり、
ひとり、ひとり、

はあるひハ産し或いきゐ或ハ人殺ゐ或ハ亡
ものくるしくなりてのちくるしみ
はゝよ行ゐ道もなりしこそ後十日目に
くゐ伝ゐうつくしとうびいろふくき物しゐ
よ行ゐ名ゐ別せうまりてとうゐ伝ゐれハ
地獄ゐれくこそとのまう事集めゐしこそ
らつまて伝ゐもうしくれうゐの命こそう
をれくゐ白ゐんのうゐふうゐ者のくゐにゐくき
いくとくきくゐあいぜひとうくくと世懐し
ちやくくうさくにてなく月もうく他し
ゐうくゐ他幻おのまくく別他なうゐゐ見こゐ
実創ゐれゐうくこのとおうゐもこゐ

4年7月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よんで拍子をとりつゝ是也とあり[illegible]
業のちからにてなるなり[illegible]
[illegible]
大夫つゝを脇[illegible]
[illegible]
[illegible]三男[illegible]
[illegible]
[illegible]尾[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]一[illegible]

十[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

きんぢ拍子中終